

2017年8月4日
くらしとバイオプラザ21事務局

第22回コンシューマーズカフェのご案内

「農業分野におけるゲノム編集技術とその規制をめぐる国内外の動き」

くらしとバイオプラザ21の活動に、いつもご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

第22回コンシューマーズカフェを2017年9月19日に行います。

今回は、名古屋大学環境学研究科教授 立川雅司さんをお迎えし、ゲノム編集技術をめぐる国内外の動向についてお話いただきます。ゲノム編集技術を含む新しい育種技術については第14回でもとり上げましたが、その後、国内外の研究開発が進み、規制についても検討が始まっており、この分野への関心はますます高まっています。日本でも、国産のゲノム編集技術やこの技術を用いた農作物などの実用化にむけた動きがみられます。これまでご研究されてきた、遺伝子組換え食品をはじめとするバイオテクノロジーを用いた農作物・食品の国内外の規制の経緯も踏まえたお話をうかがえる貴重な機会です。どうぞ、お誘い合わせの上、ご参加お申込みをお待ちしています。

日時：2017年9月19日（木） 13:30～15:30

場所：くすりの適正使用協議会 1階 会議室 TEL 03-3663-8891

<http://www.rad-ar.or.jp/council/access/index.html>

プログラム：

13:00～ 開会

13:10～ お話「農業分野におけるゲノム編集技術とその規制をめぐる国内外の動き」

講師 名古屋大学環境学研究科教授 立川雅司さん

14:10～ 質疑応答

15:00 閉会

参加費：1,000円（資料代・ドリンク代。当日、会場にて徴収）。ただし、会員（正会員および協力会員）は500円です。

参加申込み：申込み先着15名。参加希望者はmail、FAX、葉書で、「第22回コンシューマーズカフェ参加希望」と明記し、①住所（電話番号、ファックス、E-mail）、②氏名、③ご所属を記入しお申し込み下さい。お申込み受け付けmailかFAXが3日以内にくらしとバイオから届かない時はご連絡下さい。

申し込み/問い合わせ先：

くらしとバイオプラザ21事務局 担当 佐々・田中

〒103-0025 中央区日本橋茅場町3-5-3 日宝茅場町ビル8階

tel 03-5651-5810 fax 03-3669-7810 E-mail bio@life-bio.or.jp

（当日 11:30以降のご連絡は090-8512-7944まで）

第 22 回コンシューマーズカフェ参加申込み書

FAX 03-3669-7810 E-mail bio@life-bio.or.jp

コンシューマーズカフェ 2017年9月19日に参加申込みをします

年 月 日

フリガナ 氏 名	
連絡先（初参加の方のみご記入下さい）	tel/fax
	E-mail
ご 所 属 （初めての方のみご記入下さい）	
その他の 連絡事項	

今までに開催されたコンシューマーズカフェ

- 第1回「消費者庁における情報の一元化の現状と課題」 全国消費者団体連絡会 事務局長 阿南 久さん
- 第2回「健康食品の問題点と今後のあり方」 (独)国民生活センター商品テスト部調査役 宗林さおりさん
- 第3回「今、問われる消費者の役割」 コープこうべ参与 伊藤潤子さん
- 第4回「農薬、放射性物質の基準はどのように決められるか？」
日本獣医生命科学大学名誉教授 鈴木勝士さん・コープネット事業連合品質保証部長 太田憲治さん
- 第5回「食のリスクコミュニケーションの実践～食品安全委員会の活動から」 食品安全委員会委員長 小泉直子さん
- 第6回「食品表示から考える」日本生活協同組合連合会 安全政策推進室 室長 鬼武一夫さん
- 第7回「フコムネット設立1年～科学的な食情報を消費者に届ける苦闘を振り返る」科学ライター松永和紀さん
- 第8回「食品安全委員会の明日～BSE 対策の見直しを含め」内閣府食品安全委員会事務局長姫田尚さん
- 第9回「GM 作物の誤解」毎日新聞社 小島正美さん
- 第10回「これからの農業と食料について考える」宮城大学食産業学部フードビジネス学科 教授 三石誠司さん
- 第11回「食品の機能性表示のこれから～グローバルな視点から考える」グローバルニュートリション顧問 高橋迪雄さん
- 第12回「不安の構造 リスクコミュニケーションはなぜ失敗するのか？」食の安全・安心財団 理事長唐木英明さん
- 第13回「遺伝子組換え技術の食品および食品添加物への安全性確保」明治大学農学部教授 中島春紫さん
- 第14回「新しい育種技術(NBT)をどうとらえるのか」農林水産省技術安全室 室長 鈴木富男さん
- 第15回「遺伝子組換え作物・食品の安全性確認～データが蓄積されてわかってきたこと」東京農工大学教授小関良宏さん
- 第16回「機能性表示食品制度が始まって」グローバルニュートリショングループ代表取締役 武田猛さん
- 第17回「食の安全～地方衛生研究所、食品安全委員会、クドア」川崎市健康安全研究所長 岡部信彦さん
- 第18回「新規技術のリスクにどう向き合うか」東京大学公共政策大学院 特任教授 岸本充生さん
- 第19回「機能性表示食品を評価して～ASCON 科学者委員会報告書を中心に」
消費者市民社会をつくる会(ASCON)代表理事 阿南久さん
- 第20回「食品の放射性物質のリスク～消費者意識調査からわかったこと」
東京大学 食の安全研究センター長 関崎勉さん
- 第22回「食品表示の意味を考えよう」森田満樹さん(消費生活コンサルタント) 森田満樹さん